



2021年10月29日

各位

上場会社名 四国電力株式会社  
 代表者 取締役社長 社長執行役員 長井 啓介  
 (コード番号 9507、東証市場第一部)  
 問合せ先 経理部 管理グループリーダー 行本 亮児  
 (TEL 087-821-5061)

## 個別業績予想の修正に関するお知らせ

2021年4月28日に公表した2022年3月期通期の個別業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ● 個別業績予想の修正について

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	441,000	△12,500	△3,000	1,000	5.00
今回修正予想 (B)	472,000	△21,500	△12,000	△5,500	△27.00
増減額 (B - A)	31,000	△9,000	△9,000	△6,500	
増減率 (%)	7.0	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	590,109	△20,638	△17,638	△12,167	△58.68

#### 修正の理由及び通期個別業績予想に関する定性的情報

##### (修正の理由)

燃料価格高騰に伴い、燃料費調整額の増を大幅に上回る需給関連費の増加が見込まれることなどから、上記のとおり修正いたします。

なお、期末配当予想については、4月公表(1株当たり15円)から変更はありません。(年間配当は中間配当と合わせて30円)

##### (通期個別業績予想に関する定性的情報)

売上高は、燃料費調整額の増などにより、前回公表値に比べ310億円増加の4,720億円と予想しています。

利益については、燃料価格高騰に伴い需給関連収支が悪化することから、前回公表値に比べ、営業利益は90億円悪化の△215億円、経常利益は90億円悪化の△120億円、当期純利益は65億円悪化の△55億円と予想しています。

なお、当期の収支悪化要因のうち、燃料価格高騰に伴う燃料費調整額の2022年度への期ずれ影響は、140億円を見込んでいます。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上